

A panel discussion on nutraceutical approach to health and disease

レドックス編 Redox Reaction

神経疾患患者に対するバイオ・ノーマライザーの効果についての臨床試験報告



イリナディーヴァ医師 医学博士
(ロシア)

ロシア国立医科大学分子生物学科 首席研究員
イタリア腫瘍学センター 客員研究員
イタリア IDI 客員研究員

神経障害のあるチェルノブイリ清掃人のレドックス状態に及ぼすバイオ・ノーマライザーの効果

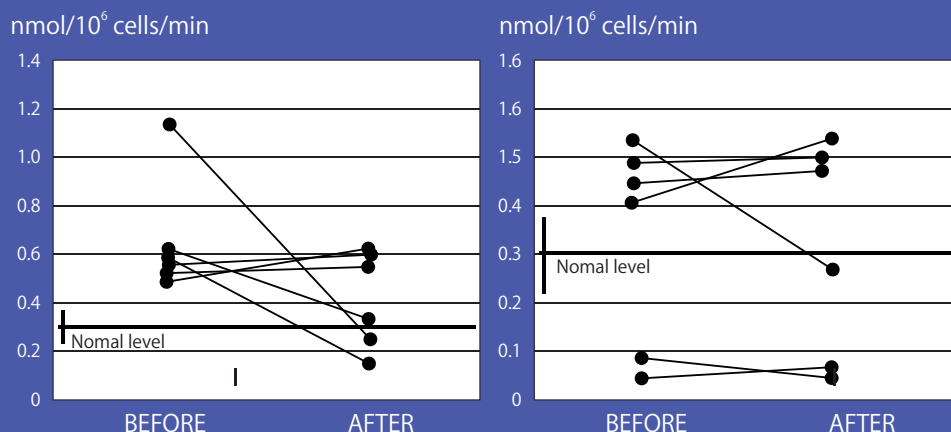
チェルノブイリ地域の住民は、心理そして情動的不安、神経過敏、頭痛の発作など、多くの神経障害や、時には運動障害、性的衝動の障害や、食感や感受性の障害を示しました。神経系の病理的变化に対する分子・細胞レベルから、脳血流の障害を来すレドックス状態のアンバランスが考えられます。

私どもの臨床試験では、神経系の障害が確認されたチェルノブイリの清掃人50人に対して、1カ月間、毎日2袋のバイオ・ノーマライザーを投与して、血漿の脂質酸化、ルミノール依存性化学発光、そして循環白血球の一酸化窒素及びスーパーオキシド産生の分析など、酸素ストレスに関する実験、並びにグルタチオン含量と、赤血球中のSODとカタラーゼの活性の分析を行いました。

バイオ・ノーマライザー投与前は、チェルノブイリの清掃人の体内レドックス状態に著しいアンバランスが見られました。スライド①では、血液白血球によるスーパーオキシド産生を示しています。ごらんのとおり、ある患者グループではスーパーオキシドの産生が低い値を示し、別の患者グループではスーパーオキシドの産生が高い値を示しています。バイオ・ノーマライザー投与後に、状態が著しく改善しています。低い値を示していたスーパーオキシド産生が増加し、そして高い値を示していたスーパーオキシド産生が減少しました。

白血球によるスーパーオキシドの産生

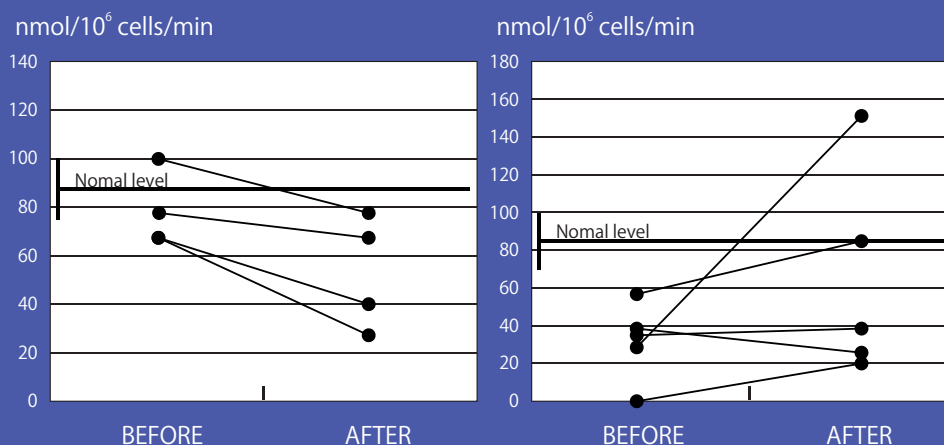
DYNAMICS OF SUPEROXIDE PRODUCTION BY BLOOD LEUKOCYTES



スライド②の一酸化窒素の産生も同様です。さらに、バイオ・ノーマライザー投与の結果、脂質過酸化産物の産生、並びにグルタチオン含量、脂質過酸化、ルミノール依存性化学発光、そのほかのパラメーターのバランスが大幅に調整されました。チェルノブイリ清掃人における、これらレドックス状態の変化の全てが、臨床的なプラス効果によく相関性を示していたことは重要です。実験結果から、バイオ・ノーマライザーは、患者の体内の酸化・抗酸化バランスを改善し、脳血流を正常化したことがわかりました。

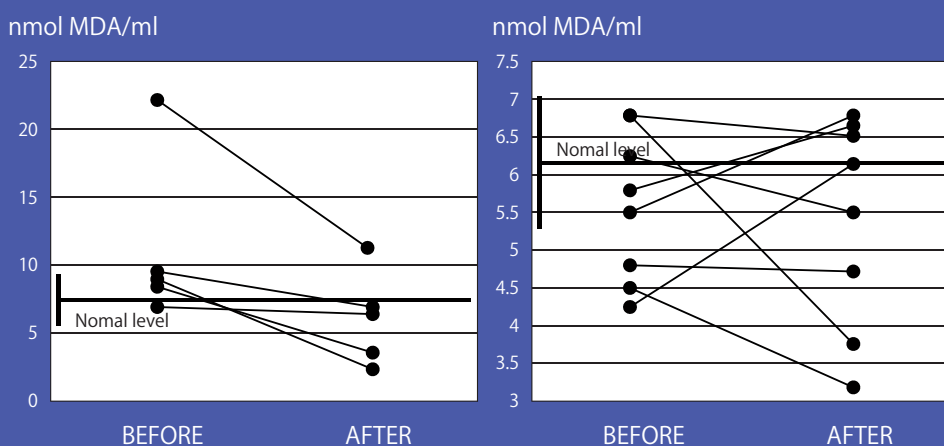
②白血球による一酸化窒素の産生

DYNAMICS OF PEROXYNITRITE BY BLOOD LEUKOCYTES



③脂質過酸化産物の産生、並びにグルタチオン含量、脂質過酸化、ルミノール依存性化学発光の産生

DYNAMICS OF TBAR PRODUCTS IN PLASMA



そして、放射線照射は老化促進物質を誘導することを強調しておきます。したがって、バイオ・ノーマライザーは高照射用の医薬、薬剤であるばかりか、抗老化剤としても有用な役割を果たすことを示唆しています。



このレポートは1999年9月3日に岐阜県の長良川国際会議場で行われたバイオ・ノーマライザー開発30周年記念パネルディスカッション「バイオパシー理論による治療現場からの報告とバイオ・ノーマライザーの今後の可能性」をもとに作成しています。DVDの詳細は大里三旺研究所（Osato Suno Research Institute 略称 OSRI）のウェブページをご参照ください。

http://osri.asia/lab/30th_anniversary#Redox